



『舟を編む』著者、三浦しをんさんの辞書談義も掲載！
特集「本当はおもしろい国語辞典」

『日本語教育ジャーナル』 2012年冬号

<2012年11月9日(金)発売>

株式会社アルク（東京都杉並区永福 代表取締役会長：平本 照麿）より、『日本語教育ジャーナル』2012年冬号のご案内を申し上げます。

『舟を編む』の三浦しをんさん登場！ 国語辞典の見方が変わる！

【特集1】ことばの世界に遊べ！ **本当はおもしろい国語辞典**

2012年本屋大賞を受賞した『舟を編む』著者の三浦しをんさんが登場！ 学者芸人のサンキュータツオさんと、楽しい辞書談義を繰り広げています。

ほかにも、国語辞典作りに人生を捧げてきた偉人たちの熱きエピソード集や、『大辞林』（三省堂）、『日本国語大辞典』（小学館）の編集者や編集委員に聞く制作裏話など、盛りだくさん！
国語辞典の深くて、楽しい世界をご案内します。



【定価】1,365円(税込)
【サイズ】B5判
【雑誌コード】07185-12

【特集2】 子どもたちの未来をつくる **今、日本語教育にできること**

日本語の指導を必要としている外国人児童、約2万8000人の現実

現在、日本の公立小・中・高等学校などには、約7万4000人の外国人児童が学んでいて、その内、約2万8000人が日本語の指導を必要としています*。子どもたちの人生にかかわる重要なことでありながら、見過ごされがちなこの問題を、本特集ではさまざまな角度からレポートしています。

※文部科学省調べ

- ・子どもたちの支援を行う人々への直撃インタビュー
- ・外国人の若者たちが、日本で子ども時代を振り返る座談会
- ・現在の支援と今後の課題についての話し合い など

【異文化に学ぶ】小島慶子(タレント・エッセイスト)

多彩に活躍する小島さんに聞く、コミュニケーションの極意。

【大人の社会科】森永卓郎(経済アナリスト)

なぜ日本はデフレから脱却できない？ 鋭い分析を本音で語る。

■本リリースについてのお問合せ、見本誌送付のご依頼、編集部への取材依頼などは下記までご連絡ください■

【編集部への取材も歓迎！】国内外の日本語教育や、日本に暮らす外国人の事例を取材し続けています。

株式会社アルク 広報部（担当：河合、池田） e-mail: ko-ho@alc.co.jp 電話: 03-3323-3521